

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図ること (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1)所在地 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) (2)施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	69,903	20,132	54,522		
使用料合計(円)	7,630,108	3,393,137	6,256,345		
貸館率(%)	74.3	51.2	63.5		
講座等参加者数(人)	10,608	669	3,628		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	B	A				13

指標1

指標名(単位)	施設の貸館率(%)
指標式と指標の説明	(1)指標式:施設の利用回数/施設の利用可能回数×100 (2)指標の説明:当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	78.0	78.0	78.0		
実績値(%)	74.3	51.2	63.5		
達成度(%)	95.3%	65.6%	81.4%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2					
指標名 (単位)	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 (%)				
指標式と指標の説明	(1)指標式: 講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数 / アンケートの総回答人数 × 100 ・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか (⇒「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数) ・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか (⇒「はい」と回答した人数) (2)指標の説明: 講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。				
項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	70.0	70.0	70.0		
実績値 (%)	74.5	80.8	83.7		
達成度 (%)	106.4%	115.4%	119.6%	#DIV/0!	#DIV/0!

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	S	B				15

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画運営	「第3次さがみはら男女共同参画プラン」等に基づき、男女共同参画社会の実現を目指し、講座等の企画・運営を行った。 ■実施事業数 R1:40本、R2:12本、R3:39本 ※ほか、コロナ等による中止事業あり (中止事業 R1:2本、R2:20本、R3:2本) ■参加率: R1:78%、R2:73.7%、R3:67.6%	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が、令和元年度～令和3年度のいずれの年度においても、目標の70%を達成しており、施設の設置目的の達成に繋がった。 ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 R1:79.4%、R2:71.9%、R3:83.7%
市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間に合わせてソレイユフェスタを開催し、パネルディスカッションやセミナー、パネル展示などを実施した。 ■実施事業数 R1:6本、R2:9本、R3:9本 ■参加率: R1:116%、R2:105.1%、R3:64.9%	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が、令和元年度～令和3年度のいずれの年度においても、目標の70%を達成しており、施設の設置目的の達成に繋がった。 ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 R1:76.7%、R2:90.1%、R3:83.1%
であいの広場におけるパネル展示	暮らしや社会に潜むジェンダーに関する問題を取り上げたパネル展示やDVD上映などを通して、来館者に対する男女共同参画に関する啓発を行った。 ■パネル展示: 平均年2回 ■気づきのコーナー啓発展示: 平均年2回 ■DVD上映: 平均月3本	講座等事業への参加者だけでなく、来館者全般の男女共同参画意識の高揚に繋がった。

その他男女共同参画に係る各種情報の収集と提供	ソレイユさがみの活動内容や男女共同参画に関する啓発情報を発信するとともに、ブックレビューを発行し、新着図書やおすすめ図書の紹介を行った。 ■ホームページの充実 ■ソレイユニュースレターの発行(1,100部×年4回) ■ソレイユブックレビューの発行(850部×年6回) ■ソレイユブックレビュー桜美林大学学生号の発行(800部×年1回)※R2、R3のみ ■ソレイユさがみ情報コーナー企画展示	広く情報発信を行うことで、来館しない方も含め、男女共同参画に関心をもっていただくきっかけづくりができた。
市民企画セミナーの開催	男女共同参画社会の実現を目指したセミナー、講演会等の企画・実施を希望する団体やグループに講師謝金等を助成するとともに会場の提供や運営支援を行った。	市民団体やグループの男女共同参画に関する活動の支援を行うことで、当該団体の活動の活性化に繋がった。一方で、男女共同参画意識の高揚度については十分とはいえないため、企画段階からのより丁寧な助言等が必要である。 ■企画団体数 R1:5団体、R2:1団体、R3:無し ※R2、R3の大幅減少はコロナの影響を受けたためと考えられる。 ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 R1:52.3%、R2:56.3%、R3:-

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
ソレイユゆめひろば プチマルシェ	女性起業家支援事業として、であいの広場に設置した展示棚を貸し出し、オリジナルハンドメイド作品の展示の場を提供するとともに、月1回開催のプチマルシェにおいて、販売やワークショップの場を提供した。	起業を目指す女性の、起業のきっかけづくりができた。(令和2年度はコロナの影響により中止) ■出店者 R1:延べ220名、R2:-、R3:延べ112名 ■参加者 R1:3,106名、R2:-、R3:1,108名

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A				15

利用者満足度調査

調査手法	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期:通年
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問において、「大変満足」及び「満足」の割合の平均:90%以上

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0		
実績値 (%)	93.8	94.3	94.7		
達成度 (%)	104.2%	104.8%	105.2%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
お客様の声	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想等を募集するとともに、意見等に対する対応、回答を掲出し、利用者に周知した。
利用記録用紙	セミナールームやであいの広場利用者に対し、利用内容、利用人数等のほか、施設への意見や要望等を尋ね運営管理に役立てた。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
フリーWi-Fiをつけてほしい。特に災害時などに避難してきたときに助かる。	令和2年11月に、コミュニティゾーンにフリーWi-Fi設備を導入した。
スタディゾーンのエアコンを各利用者が自由に变更しており寒いときがある。適温を表示して各自が自由に変えないようにしてほしい。	26℃を基本にしている旨の表示を行った。
消しゴムのカスを捨てるゴミ箱が欲しい。	廃棄予定の紙で折り紙の箱を作成し、スタディゾーン自由利用可能なものとして用意した。
プレイランドのおもちゃを増やしてほしい。	令和3年度末頃に、滑り台や新たなおもちゃを設置した。
勉強スペースを増やしてほしい。	スタディゾーンに長机を一台増やした。また窓際に長机3台を新たに設置し、一人で利用する方への対応を行った。
プレイランドに土足で上がる子どもがおり、衛生面で気になる。注意書きを置いてほしい。	「土足禁止」の注意書きをプレイランド入口に貼付した。
エスカレーターや市民相談室前などにたくさんベンチを置いていただきたい。	当該場所の管理担当部署に要望の内容を伝え、検討を依頼した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	/	/	(20点満点)	15

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	26,593	27,873	32,026	/	/
指定管理料	17,707	17,870	17,870	/	/
使用料収入	7,630	3,393	6,256	/	/
その他の収入	1,256	6,610	7,900	/	/
支出 (b)	26,253	25,627	28,404	/	/
人件費	22,047	20,974	21,333	/	/
本社管理経費	0	0	0	/	/
その他の支出	4,206	4,653	7,071	/	/
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	340	2,246	3,622	/	/
自主事業収入 (d)	259	0	100	/	/
自主事業支出 (e)	126	0	30	/	/
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	133	0	70	/	/
全体収支 【(c)+(f)】	473	2,246	3,692	/	/

備考

【全体収支増の理由】

指定管理者制度導入施設協力金による収入増が、施設休止等の影響による施設使用料収入の減や、新型コロナウイルス感染症対策のための支出増を上回ったことが、全体収支の増につながっている。

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
仕事と生活の両立のための意識啓発 (男性の介護参画促進)	男性の介護参画を促すとともに、仕事と介護の両立について考える講座等の開催	令和5年度中に実施予定
妊娠・出産に関する健康支援	リプロダクティブ・ヘルス/ライツを学び、自分の心身に対する選択力をつける講座等の開催	令和4年度の「さがみはらいいききフォーラム」として実施

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
LGBTsクローズドミーティング	登録団体である「からふるテラス」との共催で、当事者や家族同士の交流の場を、令和2年度より、年5回程度開催	当事者や家族の支援を行うことができた。
大学生のインターンシップの受け入れ	令和3年度より、大学2校からインターンシップを受け入れ、セミナー等を協働して企画・運営	事業等に若年層の視点を取り入れることができた。
セミナー等のオンライン開催	令和2年度より、性の多様性に関するセミナー等をオンラインと対面の併用で実施	コロナ禍でもあり、対面式では参加しにくい方々にも参加していただけた。
プチマルシェワークショップ	令和3年度より、プチマルシェ参加者のスキルアップ事業として、講師としてワークショップを開催するまでの支援を実施	多様な女性の起業支援ができた。

10 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、市補助金を活用し感染防止対策を徹底して行い、オンラインセミナーのほか様々な講座等を実施してきました。参加者からは男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値70%を上回る平均約80%の結果を得ることができました。また、新規にLGBTs当事者や家族を対象にしたミーティングを定期的に開催したほか、プッチマルシェの参加者が講師となって開催するワークショップ、インターンシップの受け入れ、当該大学生とともにセミナーや企画事業などを一緒に作り上げるなどし管理運営コンセプトである「参加から参画へ」を実践してきました。登録団体のほか国、県、市の様々な関係機関や大学等と連携し、男女共同参画社会を実現するための活動拠点としてあらゆる世代に開かれた施設づくりとネットワークの拡大に努め、だれもが「自分らしく生きること」を支援してまいりました。

11 所管課意見

令和元年度末頃から流行し始めた新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、大学生のインターンシップの受け入れ等、提案事項にはない事業を含め様々な事業を実施した結果、令和元年度～令和3年度の全ての年度において、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標の70%を上回ったことは、施設の設置目的に大きく寄与する取組結果であると評価する。加えて、高い利用者満足度を維持していることや、フリーWi-Fiの設置等利用者からの様々な要望や意見に真摯に対応していること、施設の経営状況が安定していることから、施設運営は適切に行われているものと評価する。提案事項中の一部未実施事業について、令和5年度中に確実に実施するとともに、コロナ禍で低迷傾向にある貸館率の向上に向けた取組を進めていただきたい。市内の男女共同参画の活動拠点として、より効果的な事業実施や質の高い施設運営ができるよう、社会状況に即した積極的な取組を期待する。

12 選考委員会意見

○新型コロナウイルス感染症が広がる中でも、様々な事業の実施について模索してきたこと、多世代連携を意識した大学生のインターンシップの受け入れなど新たな取組を行ってきた点について評価できる。また、成果指標である男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値を上回るとともに毎年向上していることは、長年事業に取り組んできた成果であり評価できる。

○提案事項にないLGBTsクローズドミーティングやインターンシップ受け入れによる若者の参画など社会の状況や課題に即した事業にも積極的に取り組んでいる。

○所管課として、指定管理者の取組に満足せず、変化する社会環境に則った事業推進を求めていることは重要なことである。

○利用者の満足度調査については、具体的な内容が把握ができるよう、利用者の視点を勘案した調査方法の検討を深めていって欲しい。

○男女共同参画の推進拠点として、コロナ禍の中で新たに生じた課題や様々なニーズに対応するとともに、これまでのコロナ禍対応における知見や経験が、今後の活動に継続して活かされていくことを期待する。

○未実施である登録団体連絡会のオンライン開催、団体等の活動支援や企画提案事業の充実など、市内の男女共同参画の推進拠点として更なる成果を上げてもらいたい。

総合評価（自動判定）

A

(73/100)

